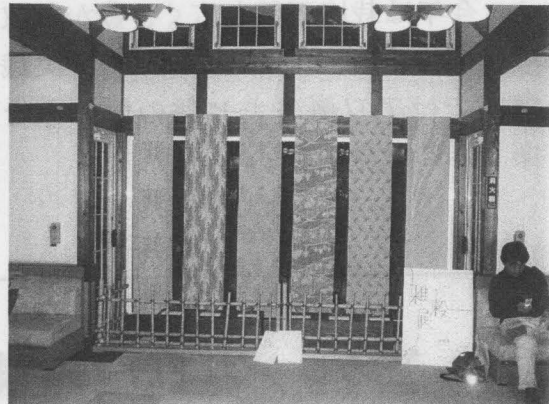


2007年10月10日発行 発行人 植物と人々の博物館

◎ 小菅の湯で雑穀展を開催しています

10月2日から10月28日まで：
小菅の湯で「雑穀デザイン特別展」を開催しています。東京学芸大学の民族植物学研究室と環境プロダクト・デザイン研究室との共同で学生・院生の作品を展示していますので、ぜひ見にお越しください。展示はとても好評で、雑穀メニューの注文も増えたそうです。



◎ 中央公民館で小菅村の結婚式を再現しました



小菅村の中央公民館では結婚式が行

われていた頃がありました。これを再現しようと、黒澤友彦、東江夫妻の結婚式を挙行了しました（9月29日）。村長、教育長以下、多くの村民の皆様、お二人のご両親、親類、友人など120名の方々が集まり、素晴らしい式でした。黒澤さんはP&PM連携推進室長でもありますので、奥秋忠俊伝承智顧問、博物館研究員、東京学芸大学の学生も多数が参列しました。

◎ 展示室・図書室の改修の継続

教育委員会が村民の皆様から寄贈・貸出しを受けた民具の整理と展示を東京学芸大学の教職員・学生がしています。展示室の改修は平成18年度「水と緑の森林基金」の助成で、小菅産の材木を用いて行いました。小林豊

蔵さんが展示棚や台を作ってくださいました。平成19年度の助成では図書室の整備をして、村の皆様や来村の方々に見ていただけるように農林学や植物学など植物関係の本を充実します。

◎ 雑穀の収穫を進めています

小菅の湯下の雑穀栽培見本園ではキビの収穫を終え、アワの収穫をしています。畑の下で乾燥をしています。今後順次、脱穀、糲摺り、精白をします。今年は栽培面積も広く、豊かな収穫が期待でき、12月の民族植物学実践講座ではアワ餅やキビ餅の餅つきを楽しみにできます。



◎ 小菅カレッジ「ELF 環境学習中堅指導者講習会」

第1期を始めました



10月6日から8日にかけて、中組の研修室をお借りして、実施しました。

研修参加者5人でNPO法人自然文化誌研究会環境学習指導者「のびと」と守屋あき子さんらが講師となって、研修会を始めました。研修生は野外活動協議会（CONE）の「野外活動リーダー」資格も同時に取得できます。基礎理論の検討から初めて、野鳥、星座観察、雑穀栽培、きのこ採集などの実技講習をしました。将来、私たちとともに秩父多摩甲斐国立公園で活躍することを期待しています。

◎ 小金井環境博覧会の開催

小金井市では環境博覧会を法政大学で開催しました(9月23日～24日)。

植物と人々の博物館、小菅村エコセラピー研究会、自然文化誌研究会の展示

も一緒にしました。木俣美樹男研究員はシンポジウムで小菅村との連携について報告しました。アル・ゴア前アメリカ合衆国副大統領の映画「不都合な真実」やシンポジウム、ポスター展示、子ども向けプログラムにのべ800名の参加者がありました。



◎秩父エコミュージアム

秩父でも再びエコミュージアム活動が始まりました。小菅に移転する前は大滝村エコミュージアムづくりを10年ほどしていましたので、秩父の方々がこれを引きついてくださるとのことです。とてもうれしいことです。秩父多摩甲斐国立公園の各地が連携することが望まれます。

◎第10回ミューゼス研究会を開きます

11月23日(祝日)に中央公民館で予定しています。小菅村の隣保回覧でお知らせします。エコミュージアム日本村づくりの今後を話し合います。ぜひ、ご参加をご予定ください。

◎ We love Tamagawa いのちをつなぐ138 シンポジウムをします ~多摩川エコミュージアム・ネットワーク・シンポジウム~

東京学芸大学と小菅村の皆様が中心になって準備を進めています。村長さんはじめ大勢の方々をご参加くださる予定です。学生・市民が一緒になって多摩川をめぐるエコミュージアムに蓄積された知恵を共有し、流域住民に広く伝え、上・中・下流の人々の環境学習活動をつなぎます。このシンポジウムは東京学芸大学の学生、教職員と多摩川流域市民の皆様が一緒に実行委員となって、熱く語り合いながら、手作りで準備しています。さらに多くの学生や市民の皆様が話し合いに参加してくださることを歓迎し、楽しみにお待ちしております。農水省、環境省関東地方環境事務所、国土交通省京浜河川事務所、東京都、山梨県始め流域のすべての市町村が後援して下さり、展示資料も提供して下さいます。

<日時> 2007年11月17日(土)10時~17時半(終了後、交流会)

<場所> 東京学芸大学 講義棟(S410 ほか4階全フロア)
環境教育実践施設多目的室、彩色園など

<主催> 東京学芸大学地域と連携した環境学習推進委員会・シンポジウム実行委員会・植物と人々の博物館プロジェクト

プレシンポジウム

高野孝子さん(NPO 法人エコプラス代表理事)を囲んで「野外環境学習活動」について語り合います(16日夕方)。

全体会① 多摩川をめぐるエコミュージアム活動の現場からの話題提供

展示 個人や団体の活動や研究をポスターなどで展示発表し、人々の出会いと活動経験を交流する

分科会 多摩川の自然をめぐる展開されているいろいろな文化活動の経験を交流し、じっくり話し合います。

分科会1: 多摩川流域の生き物と川遊び

分科会2: 山村の暮らしとむらづくり

分科会3: 多摩川流域のまちづくり

分科会4: エコミュージアム・ネットワークづくり

小菅物産展

お昼に広瀬屋さんご主人がそば打ちを、木下稔さんがヤマメの塩焼きを実技指導して下さいます。また、小菅物産館からも出品があります。

所在地: 〒409-0211 山梨県北都留郡小菅村4581 中央公民館内

現地連絡委託先電話/ファックス: 0428-87-0165

Eメール: npo-inch@wine.plala.or.jp または kimatami@u-gakugei.ac.jp

ホームページ: <http://www.fsifee.u-gakugei.ac.jp/millets/framepage1.htm>